



令和 7 年度 登別市立登別中学校 グランドデザイン



《校訓》
清く 明るく おおらかに

地域・学校・生徒の実態
教職員・保護者・地域の願い
時代の要請

学校教育目標

- すすんで学び 正しく判断する 【知】
- 思いやりを持ち きびしさに耐える 【徳】
- 命を大切にし 心身を鍛える 【体】

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
北海道教育推進計画
登別市学校教育推進計画

目指す生徒像

- ・心身ともに健康で、夢の実現に向けて粘り強く努力し続ける生徒
- 自分の考えを深め、表現できる生徒 (表現する力)
- 自他を大切にし、思いやりを持つ生徒 (思いやる力)
- 何事にも挑戦し、やり抜く生徒 (やり抜く力)

目指す学校像

- ・不易と流行を見極め、生徒が自分の成長を実感できる学校
- 安全・安心な学校
- 楽しく活気のある学校
- 地域に信頼される学校

目指す教師像

- ・教育者として研鑽に勤しみ、連携・協働しながら課題解決に取り組む教師
- 経営参画意識を持ち、組織として協働する教師
- 生徒とともに汗を流す教師
- 教職に対する強い情熱を持つ教師

学校経営基本方針

「子どもの命を守り、社会に出たときに活躍できる生徒の育成」

育成を目指す三つの資質・能力

※登別小学校が目指す資質・能力
【表現 共生 協働 継続】
と系統性を持たせ 9 年間を通し育成を図ります

※ 赤字・下線部が本年度の最重点課題

表現する力

- ・「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善
- ・ICTを活用した個別最適化と協働的な学習の推進
- ・家庭と連携した家庭学習の習慣化の定着に向けた取組の推進
- ・各種調査結果を踏まえた学力向上に向けた組織的・計画的な取組(書くこと・説明すること)
- ・ICT を効果的に活用した生徒の情報活用能力の育成

思いやる心

- ・「居場所づくり」「絆づくり」を軸とした自己有用感を高める教育活動の推進
- ・系統性や発達段階を意識した道徳教育の充実
- ・いじめ・不登校等への組織的かつ迅速な対応とSC等との連携強化
- ・危機対応能力の育成を図る防災教育の充実
- ・地域貢献力を育むふるさと学習(郷土芸能「熊舞」)の推進
- ・インクルーシブ教育を主体とした特別支援教育の充実

やり抜く力

- ・生徒の主体性に基づく生徒会・委員会活動の充実
- ・目標や課題に立ち向かう場の設定を意識した教育活動の推進
- ・時間と共に「質」に焦点を当てた家庭学習の取組強化
- ・9 年間の系統性を意識した学習・生活習慣の改善(小中連携教育の推進)
- ・キャリア・パスポートに基づく発達段階に応じたキャリア教育の充実

自己有用感を高める

教育活動の
基盤

「居場所」と「絆」をつくる

- ・「存在感・承認・貢献」のある集団づくりと授業づくり
- ・生徒同士の望ましい人間関係の構築

- ・思いやりのある学級集団
- ・適切な課題の提供
- ・授業が最大の「居場所」
- ・主体は生徒、教師は黒子

評価
・全国学力・学習状況調査の平均正答率全国平均以上・CRT 検査の平均正答率全国平均以上・学校評価、授業評価、生徒アンケート
※ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの促進⇒80%以上、「書くこと」「説明すること」を意識した授業⇒80%以上、悩みや相談を親身になって受け止めてくれる教職員⇒80%以上、目的を意識した家庭学習の取組⇒80%以上 失敗を恐れず挑戦する生徒⇒80%以上